

授業科目	栄養教育実習事前事後指導(2023 年度入学生)					実務家教員担当科目	-				
単位	1	履修	選択	開講年次	0	開講時期	三期				
担当教員	浜谷 小百合										
授業概要	栄養教育実習に臨むため、実習前には必要な実習準備を十分に整えるとともに、実習後の整理を追究する機会となることを意図している。本授業は栄養教諭の実務経験を有した教員が担当する。栄養教育実習前は、実習に向けて教員としての倫理観や実習校の学校教育活動と学校経営・運営についての理解を深め、実習校で食に関する指導に携わることができる準備を整える。実習後は、実習の振り返り、実習報告会を通して、自己の課題解決に向けて行動していくことを目指す。										
授業形態	対面授業			授業方法	グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション						
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	1. 事前：栄養教育実習の意義と目的、実習にあたっての心構え、実習中の注意点を理解し、食に関する指導の授業研究を実践できる。(DP1-1, DP1-2, DP2-1, DP3-1, DP4-1, DP4-2, DP5-1) 2. 事後：栄養教育実習の習得事項から自省的整理を行い、今後の課題を明確にすることができる。(DP1-1, DP1-2, DP2-1, DP3-1, DP4-1, DP4-2, DP5-1)										
理想的レベル	標準的レベル 1、2 の全てを達成したうえで、基本的な知識を十分理解し、教育現場での様々な問題や課題に応用することができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法			評価割合(数値)			備考					
試験											
小テスト											
レポート											
発表(口頭、プレゼンテーション)			70								
レポート外の提出物			30			課題(授業中に内容を指示)					
その他											
カリキュラムマップ(該当 DP)・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	-
学習課題(予習・復習)										1 回の目安時間(時間)	
本授業で示された参考資料等を読み、要点をまとめる。模擬授業の実施に際しては、授業計画案、教材・掲示物作成等、事前の準備を十分に行う。										1	
授業計画											
第 1 回	テーマ：教育実習の意義と目的について										
第 2 回	テーマ：教育実習で行う授業実践の事例についての協議										
第 3 回	テーマ：現職栄養教諭が行う食に関する指導と給食管理の実際(外部講師、浜谷)										
第 4 回	テーマ：栄養教育実習における児童生徒とのかかわり方										
第 5 回	テーマ：人権教育 全学で実施(外部講師)(3月下旬を予定) 教育の場で必要な人権に関する事項について学ぶ。										

第 6 回	食に関する模擬授業の実施（1,2 年生） 模擬授業を実践し、意見交換を行う。
第 7 回	食に関する模擬授業の実施（3 年生） 模擬授業を実践し、意見交換を行う。
第 8 回	食に関する模擬授業の実施（4 年生） 模擬授業を実践し、意見交換を行う。
第 9 回	食に関する模擬授業の実施（5 年生） 模擬授業を実践し、意見交換を行う。
第 10 回	食に関する模擬授業の実施（6 年生） 模擬授業を実践し、意見交換を行う。
第 11 回	栄養教育実習の事前課題、実習日誌の記入要領および諸注意
第 12 回	栄養教育実習の振り返りと反省点の整理
第 13 回	栄養教育実習の各自課題の検討・協議
第 14 回	栄養教育実習の成果と課題のまとめ
第 15 回	栄養教育実習報告会及び協議（プレゼンテーションによる発表）
テキスト	これまでに履修したテキスト、資料等を参考にします。
参考図 書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介	文部科学省ホームページ 農林水産省ホームページ 季刊栄養教諭（全国学校栄養士協議会）
課題に対 するフィ ードバッ クの方法	発表、模擬授業、課題等については、全体または個別にコメントを行います。
学生への メッセー ジ・コメ ント	これまでに履修した教職課程の科目や学校栄養指導論Ⅰ・Ⅱで学んだ知識や技術を必要とします。教育実習生は学生ではあるが、実習の場では児童生徒にとって教師の立場となります。この授業を通して実習に取り組む目的意識と意欲を高め、基本的な指導スキルやコミュニケーション力を身に付けて教育実習に臨んでほしいと願っています。栄養教育実習で学ぶ多くの貴重な経験が、子どもたちの生涯にわたる健康づくりを支える栄養教諭としての資質向上につながることを期待しています。